

認定 NPO 法人ミュージック・シェアリング



インターナショナル・コミュニティー・エンゲージメント・プログラム ICEP 2012 バングラデシュ 実施報告書

認定 NPO 法人ミュージック・シェアリング

ミュージック・シェアリングは、1992年より、文化・芸術の振興と子どもの健全育成を目的として活動する NPO です。本物の音楽を通して子どもたちの豊かな心を育てるとともに、音楽家の社会貢献活動に対する理解を深める場を提供する音楽プログラムを実施しています。

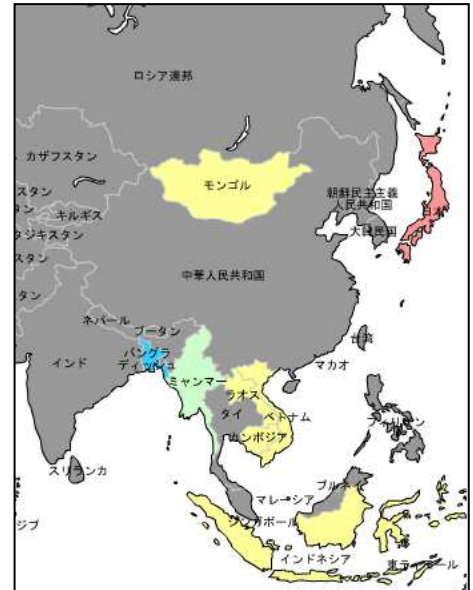
ミュージック・シェアリングの活動は個人や法人・団体の皆様から寄せられるご寄付、協賛金、助成金で運営しています。

インターナショナル・コミュニティ・エンゲージメント・プログラム (ICEP)

「インターナショナル・コミュニティ・エンゲージメント・プログラム」(以下 ICEP) は、五嶋みどりが若手演奏家とカルテットを結成しアジア各国を訪れ、子どもたちの普段の生活の場にクラシック音楽の生演奏を届けながら国際交流を図る活動です。

これまでに、ベトナム (2006年)、カンボジア (2007年)、インドネシア (2008年)、モンゴル (2009年)、ラオス (2010年) で実施し、アジア訪問の翌年には日本で報告コンサートを開催しました。

2012年12月にはバングラデシュを訪問し、2013年6月に東京と大阪で活動報告コンサートを行います。また、2013年12月にはミャンマーでの活動を予定しています。



ICEP 2つの目的

◆未知の文化体験をアジアの子どもたちに

ICEP で訪問する国の子どもたちは、身近な場所でクラシック音楽の生演奏を聴く機会がほとんどありません。子どもたちのクリエイティビティー・相互理解・向上心を育む一助となるよう、視野を広げ明日への夢を抱くきっかけ作りを提供します。

◆世界各国の若手演奏家とともに活動

五嶋みどりとカルテットを組むのは、世界からオーディションにより選ばれた若手演奏家3名。

オーディションでは録音審査以外に小論文やメールインタビューの課題を設け、総合的に評価しています。若手演奏家が ICEP での経験を通じて音楽のもたらす力について見つめ直し、音楽家としてできる社会貢献活動とはどのようなことなのか、実体験を通じて認識していきます。

もうひとつの ICEP - 活動は日本でも

ICEP 訪問国での活動を日本国内に発信するため、アジアツアーの翌年、日本でカルテットを再結成しています。演奏とともに訪問国での活動について演奏家自身が語る「ICEP 活動報告コンサート～五嶋みどり & Young Artists」の実施に加えて、日本の小学校やジュニアオーケストラで行う「訪問プログラム」にも参加。日本の子どもたちに ICEP 訪問国の様子やそこで暮らす子どもたちの現状を伝え、「日本人として今自分にできることはなにか」を考えるきっかけを作ります。

参加アーティスト

五嶋みどり Midori (ヴァイオリン)



10歳で渡米。11歳でニューヨーク・フィルとの共演以来、指揮者ではバーンスタイン、アバド、メータ、小澤、ラトル、ヤンソンス、エツシェンバッハ、器楽奏者ではスターン、ズッカーマン、ヨーヨー・マ、オーケストラではベルリン・フィル、ウィーン・フィル、パリ管、コンセルトヘボウ管をはじめ、世界の著名な音楽家と共演を重ねる。また、アメリカの教育番組「セサミストリート」や教科書にも登場する、欧米で最もポピュラーなクラシック音楽家である。現代音楽の初演、新進作曲家の作品発表、委嘱プロジェクトの推進など、将来を見据えた音楽啓蒙活動も精力的に行っている。

コミュニティー・エンゲージメント活動(地域密着型の社会貢献活動)にも意欲的に取り組み、1992年、ニューヨークに非営利団体「Midori&Friends」と、同時に東京に「みどり教育財団東京オフィス」(現:認定NPO法人ミュージック・シェアリング)を設立。ミュージック・シェアリングでは、2006年からアジア圏にも活動を展開している。さらにアメリカでは、PiP(室内楽地域活性化団体)やORP(地方ユースオーケストラ支援プロジェクト)など、目的に合わせた様々なプロジェクトや団体を創設。20年にわたり継続している地域社会を意識した先導的音楽活動は、音楽家はもとより社会全体に影響を与え、強い支持を得ている。

2004年、南カリフォルニア大学ソーントン音楽学校弦楽学部「ハイフェッツ・チェアー」の教授に就任し、2007年より学部長、2012年には特別教授職となる。2010年より相愛大学客員教授、2012年にはイェール大学から名誉博士号を授与された。アメリカ芸術科学アカデミーのメンバー。

2005年ニューヨーク大学心理学修士号を取得。

2007年、国連ピース・メッセンジャー(国連平和大使)に任命され、貧困、平和、環境、教育等の問題の改善に人力を注いでいる。使用楽器はガルネリ・デル・ジェス「エクス・フォーベルマン」(1734年作)。

CDはソニー・クラシカルよりリリース。

公式サイト <http://www.gotomidori.com/japan/>

本田 早美花 Samika Honda (ヴァイオリン)



高知市に生まれ、マンチェスター、東京、ロンドンで育つ。パリ国立高等音楽院(CNSMP)にてジェラルド・プーレとオリヴィエ・シャルリエに師事し、ヴァイオリン、弦楽四重奏、室内楽を学ぶ。同大学院修士課程を審査員満場一致にて首席卒業。ヴァイオリンと室内楽で国内及び国際コンクールで最高位受賞。現在はパリを拠点に演奏活動を行い、数々の音楽祭に出演するほか、2012年ウィーン楽友協会でソリストデビュー。録音『イザイ 6つの無伴奏ソナタ』(2010年)はストラド・マガジン 2011年1月号で推奨盤に選ばれた。

<http://www.samikahonda.net/>

ウィリアム・フランプトン William Frampton (ヴィオラ)



アメリカ出身。カーネギーホール(ワイル・リサイタルホール)にて2009年にリサイタル・デビューを果たすなど、全米各地でリサイタルを行うほか、ソリストとしてボストンのジョルダン・ホールでジョゼフ・シルヴァースタインなどの指揮者と共演し、ボストン・グローブ紙上で絶賛される。今シーズンは、ガールネリ、オリオン、メンデルスゾーン弦楽四重奏団のメンバーらと共演が予定されている。ニューイングランド音楽院とジュリアード音楽院にて、キム・カシュカシャン、ダニエル・フィリップス、サミュエル・ローズらに師事。現在、ニューヨーク市立大学クイーンズ校の非常勤講師として教鞭をとる傍ら博士課程在籍中。

<http://www.williamframpton.com/>

ヒロ・マツオ Hiro Matsuo (チェロ)



アメリカ出身。幼少の頃より各地のコンクールで優勝するなど注目を浴び、オーケストラの一員として、クリストフ・エッセンバッハ、サイモン・ラトル、シャルル・デュトワなど著名指揮者と、室内楽奏者としてヨーヨー・マやジョシュア・ベルらとも共演。ニューヨークのエイヴリー・フィッシャー・ホール、ロンドンのロイヤル・アルバート・ホール、韓国のソウル・アーツ・センターなど、世界各地で演奏活動を行い、ニューヨークタイムズ紙でも、際立った若手チェリストと称賛される。カーティス音楽院でカーター・ブレイ、デイヴィッド・ソイヤーらに師事。ジュリアード音楽院で修士号を取得後も研鑽を重ねている。

<http://www.hiromatsuo.com/>

鈴木 忍 Shinobu Suzuki (写真家)

静岡県出身。新潟大学人文学部卒業。'96年度、日本写真芸術専門学校写真芸術科卒業。2000年第2回三木淳賞受賞。'01年新宿ニコンサロンにて個展『その優しい去勢のために』開催。スタジオ勤務を経て蔵田好之氏に師事。独立後、各社広告、CLASSY, mina, samurai, Hair-style-magazine 等他多数雑誌にて活動中。

ICEP2010 ラオス同行カメラマンの審査に合格し、ICEPには2度目の参加。

訪問国 バングラデシュ人民共和国



- ◆面積 約 14 万 4 千平方キロメートル（日本の約 4 割）
- ◆人口 1 億 5,250 万人（2013 年 3 月、バングラデシュ統計局）
- ◆首都 ダッカ
- ◆民族 ベンガル人が大部分を占める。
ミャンマーとの国境沿いのチッタゴン丘陵地帯にはチャクマ族等を
中心とした仏教徒系少数民族が居住
- ◆宗教 イスラム教徒 89.7%、ヒンズー教徒 9.2%、仏教徒 0.7%、キリスト教徒 0.3%
- ◆訪問した都市 Dhaka（ダッカ）、Comilla（コミラ）、Chittagong（チッタゴン）

（参照：外務省 バングラデシュ基礎データ）

活動概要

活動期間	2012年12月17～30日	
公演回数	計13回（14ヶ所）	
	訪問コンサート	13回
	一般向けコンサート	1回
参加者総数	約2,000名	
主催	認定NPO法人ミュージック・シェアリング	
協賛	キッコーマン株式会社、花王株式会社、三井石油開発株式会社、 国際石油開発帝石株式会社、株式会社小学館	
助成	公益財団法人野村財団	
協力	国連開発計画（UNDP）駐バングラデシュ事務所 国際連合広報センター（UNIC）ダッカ事務所 特定非営利活動法人アジアキリスト教教育基金 Basic Development Partners Volunteers Association of Bangladesh Shurer Dhara / Music for Development Bangladesh Protibondhi Foundation Centre for Rehabilitation of the Paralyzed	
後援	在バングラデシュ日本国大使館	

スケジュール

日	都市	行事	会場・場所	
12/17～21		日本国内リハーサル		
12/21	金	日本発		
12/22	土	ダッカ	ダッカ着	
12/23	日	ダッカ	訪問コンサート 1	Lalkutiru Basic Development Partners Primary School
			訪問コンサート 2	SOS Children's Village
			一般向けコンサート	Edward M. Kennedy Center
12/24	月	ダッカ	訪問コンサート 3	Gouripur Subal-Aftab High School
			訪問コンサート 4	Baluakandi Dr. Abdul Gaffar High School
			チッタゴンへ移動	
12/25	火	チッタゴン	訪問コンサート 5	Mahamuni Anglo Pali High School
		ランガマティ	ランガマティへ移動	
		地区	訪問コンサート 6	Moanoghar
12/26	水	チッタゴン	チッタゴンへ移動	
			訪問コンサート 7	Mahakali Balika Uchcha Bidyaloy School
			訪問コンサート 8	Fulki School
			ダッカへ移動	
12/27	木	ダッカ	訪問コンサート 9	Centre for Rehabilitation of the Paralyzed
			訪問コンサート 10	Bangladesh Protibondhi Foundation
			訪問コンサート 11	Chhayanaut Music School
12/28	金	ダッカ	訪問コンサート 12	Shurer Dhara / Music for Development
12/29	土	ダッカ	訪問コンサート 13	Samarshing Basic Development Partners Primary School
			ダッカ発	
12/30	日		日本帰国	

バングラデシュでは、1週間に14回コンサートを行い、合計2000人以上（子どもは約1250人）の現地の方にお越しいただきました。小学校、中学校、高校に加え、音楽学校、病院、身体障害者施設、児童養護施設、公共施設を訪問。ICEPメンバーによる演奏のお返しとして、子どもたちからもダンスや歌（タゴール作詞作曲の国歌など）を披露。メンバーも現地の音楽と一緒に演奏しました。

国連からは、現地移動の際のドライバー、宿泊などをご提供していただき、現地の各機関・団体からもその他いろいろとご協力いただきました。

各訪問先と活動の様子

訪問コンサート1 Lalkutiru BDP Primary School (ダッカ)



スラム街の中にある小学校で、校舎前の屋外での演奏となる。貧困率が高い地域で、墓地建設予定地のため移転を余儀なくされている。

日 時 12月23日(日) 10:30~11:30
会 場 校舎前のスペース
参加者数 約100名

実施内容 ◆ICEPカルテット自己紹介

◆楽器の説明 楽器体験

- ・ラヴェル/ 弦楽四重奏曲
- ・ストラヴィンスキー/ 弦楽四重奏のための3つの小品
- ・モーツァルト/ ディヴェルティメント
- ・リスト/ メフィスト・ワルツ

*バングラデシュ国歌タゴールの「わが黄金なるベンガルよ」子どもたちと一緒に。

訪問コンサート2 SOS Children's Village (ダッカ)



ダッカ中心部にある孤児院。痛ましい境遇の子どもたちの施設で、スタッフは母親となり、家族となっている。イスラム、ヒンズー教、キリスト教など、多宗教の団体による施設であるが、うまく組織化されている。

日 時 12月23日(日) 16:00~17:00
会 場 集会所メインホール
参加者数 約100名

実施内容 ◆ICEPカルテット自己紹介

◆楽器の説明、楽器体験

- ・ラヴェル/ 弦楽四重奏曲
- ・ストラヴィンスキー/ 弦楽四重奏のための3つの小品
- ・モーツァルト/ ディヴェルティメント
- ・リスト/ メフィスト・ワルツ
- ・バングラデシュ国歌タゴールの「わが黄金なるベンガルよ」

*子どもたちより、踊りと歌を披露。

Edward M. Kennedy Center (ダッカ)



アメリカ大使館支部であるアメリカンセンターによって、バングラデシュ青少年の育成を目的とした施設で、オープンしたばかり。コンサートについては地元の新聞にも掲載された。

日 時 12月23日(日) 20:00~21:15
会 場 メインプレゼンテーションルーム
参加者数 約60名

実施内容 ◆ICEP カルテット自己紹介

- ・ラヴェル/ 弦楽四重奏曲
- ・ストラヴィンスキー/ 弦楽四重奏のための3つの小品
- ・ハイドン/ 弦楽四重奏曲
- ・リスト/ メフィスト・ワルツ

訪問コンサート3 Gouripur Subal-Aftab High School (ダッカ)



インドとの国境付近、チッタゴンとダッカの間にある公立高校。学業推進を目的としており、バングラデシュのボランティア協会より教師が派遣されている。当日は、子どもたちから、国旗を振り、花を持つての出迎えを受ける。

日 時 12月24日(月) 09:00~09:45
会 場 「Mother Language」メモリアルステージ
屋外
参加者数 約200名

実施内容 ◆ICEP カルテット自己紹介

- ◆楽器の説明
- ◆楽器体験
- ・ラヴェル/ 弦楽四重奏曲
- ・ストラヴィンスキー/
弦楽四重奏のための3つの小品
- ・モーツァルト/ ディヴェルティメント
- ・リスト/ メフィスト・ワルツ
- *子どもたちより、バングラデシュの歌を披露



訪問コンサート4 Baluakandi Dr. Abdul Gaffar High School (ダッカ)



郊外に移設された小さい高校。生徒のほとんどがイスラム教で、男子は白いキャップを、女子はスカーフをつけている。

日 時 12月24日(月) 12:00~12:45
会 場 教室
参加者数 約50名

- 実施内容
- ◆ICEP カルテット自己紹介
 - ◆楽器の説明
 - ◆楽器体験
 - ・ラヴェル/ 弦楽四重奏曲
 - ・ストラヴィンスキー/ 弦楽四重奏のための3つの小品
 - ・モーツァルト/ ディヴェルティメント
 - ・リスト/ メフィスト・ワルツ第
- *2人の生徒がバングラデシュの歌を聴かせてくれる。

訪問コンサート5 Mahamuni Anglo Pali High School (チッタゴン)



人里離れた片田舎にある公立高校だが、約100年続く教育運営能力を持つ。資金難そして、いい人材が都市部へ流れていくという問題を抱えている。ボランティア団体からの援助も受けている。仏教徒をはじめ、ヒンズー教徒やイスラム教徒などの生徒が混在している。休日にもかかわらず、半数以上の生徒が参加。

日 時 12月25日(火) 10:00~10:45
会 場 メインホール
参加者数 約200名

- 実施内容
- ◆ICEP カルテット自己紹介
 - ◆楽器の説明
 - ◆楽器体験
 - ・ヴェルディ/ 弦楽四重奏曲
 - ・ハイドン/ 弦楽四重奏曲
 - ・ラヴェル/ 弦楽四重奏曲
 - ・リスト/ メフィスト・ワルツ
- *子どもたちよりダンスと歌を披露



訪問コンサート6 Moanoghar School (チッタゴン)



チッタゴン丘陵地域紛争の中、仏教修道士によって設立された、チッタゴン丘陵地に住む子どものための学校。生徒の半数は寮に入っている。土地に住む老人から、今ではあまり演奏されなくなった民謡を披露していただく。

日 時 12月25日(火) 16:00~18:00
会 場 講堂
参加者数 約450名

- 実施内容 ◆ICEP カルテット自己紹介
◆楽器の説明
◆楽器体験
- ・ヴェルディ/ 弦楽四重奏曲
 - ・ハイドン/ 弦楽四重奏曲
 - ・ラヴェル/ 弦楽四重奏曲
 - ・リスト/ メフィスト・ワルツ
- *生徒によるダンスと歌を披露



訪問コンサート7 Mahakali Balika Uchcha Bidyaloy School (チッタゴン)



ヒンズー教の家庭など、様々な家庭・経済状況の子どもたちが通う女子校で、他の学校同様、やはり資金難の問題を持つ。メンバーの演奏に、とても喜んでいました。

日 時 12月26日
会 場 講堂
参加者数 約100名

- 実施内容 ◆ICEP カルテット自己紹介
◆楽器の説明
◆楽器体験
- ・ヴェルディ/ 弦楽四重奏曲
 - ・ハイドン/ 弦楽四重奏曲
 - ・ラヴェル/ 弦楽四重奏曲
 - ・リスト/ メフィスト・ワルツ
 - ・タゴールの歌
- *子どもたちによるハーモニウムと鼓の演奏



訪問コンサート8 Fulki School (チッタゴン)



読み書きの力と創造力の向上を目的として作られた、文化芸術スクールで、多くの生徒は音楽を専攻している。

日 時 12月26日
会 場 講堂
参加者数 70名

- 実施内容 ◆ICEP カルテット自己紹介
◆楽器の説明
◆楽器体験
- ・ヴェルディ/ 弦楽四重奏曲
 - ・ラヴェル/ 弦楽四重奏曲
 - ・モーツァルト/ ディヴェルティメント
 - ・リスト/ メフィスト・ワルツ第1番

*インドの古典音楽ラーガなど、生徒たちによる歌、学校スタッフのベンガルの古典音楽などを披露していただく。



訪問コンサート9 Centre for Rehabilitation of the Paralyzed (ダッカ)



この病院はバレリー・テイラーによって1979年に設立された。脊髄損傷や脳性麻痺などの重病患者の病院。入院患者の方々は、車椅子やストレッチャー（担架）で来場いただく。

日 時 12月27日(木) 10:00~11:00
会 場 メインホール
参加者数 約75名

- 実施内容 ◆ICEP カルテット自己紹介
◆楽器の説明
◆楽器体験
- ・ヴェルディ/ 弦楽四重奏曲
 - ・ハイドン/ 弦楽四重奏曲
 - ・ラヴェル/ 弦楽四重奏曲
 - ・リスト/ メフィスト・ワルツ
- *障害者の方からも歌の演奏をしていただく。

訪問コンサート10 Bangladesh Protibondhi Foundation (ダッカ)



自閉症やダウン症の子どもたちが、健常児と一緒に、授業を行うことを目標としている。

日 時 12月27日(木) 14:00~15:00
会 場 集会所ホール
参加者数 約150名

- 実施内容
- ◆ICEP カルテット自己紹介
 - ◆楽器の説明
 - ◆楽器体験
 - ・ヴェルディ/ 弦楽四重奏曲
 - ・ストラヴィンスキー/ 弦楽四重奏のための3つの小品
 - ・モーツァルト/ ディヴェルティメント
 - ・リスト/ メフィスト・ワルツ
- *ダウン症の子どもによるダンスを披露



訪問コンサート11 Chhayanaut Music School (ダッカ)



1000人以上の生徒がいるバングラデシュ最大の音楽学校である。このコンサートの様子は地元の新聞 Daily Prothom Aloに掲載された。

日 時 12月27日(木) 19:00~20:15
会 場 大講堂
参加者数 約100名

- 実施内容
- ◆ICEP カルテット自己紹介
 - ◆楽器の説明
 - ◆楽器体験
 - ・ヴェルディ/ 弦楽四重奏曲 ホ短調
 - ・ラヴェル/ 弦楽四重奏曲 ヘ長調
 - ・ハイドン/ 弦楽四重奏曲 ハ長調
 - ・リスト/ メフィスト・ワルツ第1番
- *子どもたちによる歌の演奏



訪問コンサート12 Shurer Dhara/Music for Development (ダッカ)



国歌作詞作曲のタゴールので、有名な歌手Ms. Chaudhury Rezwana Bannya によって創立された音楽学校。
スラム街の子どもたちに音楽を教えている。

日 時 12月28日(金) 10:00~11:15
会 場 メインステージ
参加者数 約50名

- 実施内容
- ◆ICEP カルテット自己紹介
 - ◆楽器の説明
 - ◆楽器体験
 - ・ヴェルディ/ 弦楽四重奏曲
 - ・ハイドン/ 弦楽四重奏曲
 - ・ラヴェル/ 弦楽四重奏曲
 - ・リスト/ メフィスト・ワルツ
- *子どもたちによるタゴールの歌を披露

訪問コンサート13 Samarshing BDP Primary School (ダッカ)



メンバーは演奏の後、村人の家を訪問する。近くに高速道路の建設が予定されているため、経済的には比較的豊かである。多くの住民はヒンズー教徒。

日 時 12月29日(土) 11:00~12:00
会 場 玄関前の庭
参加者数 約100名

- 実施内容
- ◆ICEP カルテット自己紹介
 - ◆楽器の説明
 - ◆楽器体験
 - ・ヴェルディ/ 弦楽四重奏曲
 - ・ハイドン/ 弦楽四重奏曲
 - ・ラヴェル/ 弦楽四重奏曲
 - ・リスト/ メフィスト・ワルツ

第6回 ICEP バングラデシュ/日本 活動報告コンサート

● 2013年6月9日(日) 銀座 王子ホール

今年は、ミュージック・シェアリングの活動をより多くの方にご理解いただきたく、16時から(19時からのコンサート前に)プレイベントを開催し、メディアだけではなく、教育関係、企業、バングラデシュ関連団体の方々など幅広くご招待しました。

活動報告コンサートは、チケット売り出し直後に完売するという盛況ぶりでした。コンサートでは、訪問国バングラデシュ大使のスピーチや、現地訪問校より届いたDVDの映像など、現地でのメンバーの活動を、実際に同行したコーディネーターのChad Cannon氏の説明などをいれて、好評のうちに終えることができました

● 2013年6月13日(木) 大阪 ザ・フェニックスホール

売り出し直後に完売となりました。ICEPメンバーの演奏はととても好評を博しました。



写真提供/弦楽器雑誌『サラサーテ』

活動報告コンサートプログラム

Program	Profile
<p>ヴェルディ 弦楽四重奏曲 Verdi String Quartet</p> <p>I. Allegro II. Andantino III. Prestissimo IV. Scherzo-Fuga: Allegro assai mosso</p>	<p>五嶋みどり Misaki Iizumi Violinist Misaki Iizumi is a violinist from the Yamanashi Conservatory of Music. She has performed with the Yamanashi Philharmonic Orchestra and the Yamanashi Chamber Orchestra. She is currently a member of the Yamanashi Chamber Orchestra.</p>
<p>ストラヴィンスキー 弦楽四重奏のための3つの小品 Stravinsky 3 Pieces for String Quartet</p>	<p>泰山寺 美花 Misaki Iizumi Violinist Misaki Iizumi is a violinist from the Yamanashi Conservatory of Music. She has performed with the Yamanashi Philharmonic Orchestra and the Yamanashi Chamber Orchestra. She is currently a member of the Yamanashi Chamber Orchestra.</p>
<p>活動報告 Activity Report</p>	<p>ウィリアム・フランプトン William Franpton Violinist William Franpton is a violinist from the Yamanashi Conservatory of Music. He has performed with the Yamanashi Philharmonic Orchestra and the Yamanashi Chamber Orchestra. He is currently a member of the Yamanashi Chamber Orchestra.</p>
<p>ラヴェル 弦楽四重奏曲 Ravel String Quartet</p> <p>I. Allegro moderato. Très doux II. Assez vif. Très rythmé III. Très lent IV. Vif et agité</p>	<p>トビ・ワグネル Tobi Wagner Violinist Tobi Wagner is a violinist from the Yamanashi Conservatory of Music. He has performed with the Yamanashi Philharmonic Orchestra and the Yamanashi Chamber Orchestra. He is currently a member of the Yamanashi Chamber Orchestra.</p>

活動報告コンサートチラシ

<http://www.musicsharing.jp/>

認定NPO法人

ミュージック・シェアリング

〒102-0092 東京都千代田区隼町2-12 藤和半蔵門コープ708

TEL : 03-3261-1855 FAX : 03-3261-1856 Email: info@musicsharing.jp

